◆ジュニアの部

年度	男子ジュニア			女子ジュニア		
25年	竹内	修	(埼玉)	神谷	節子	(愛知)
26年	関原	武	(兵庫)	川口	沙智子	(静岡)
27年	坂本	昇	(兵庫)	一井	玲子	(京都)
28年	坂本	昇	(兵庫)	難波	多慧子	(兵庫)
29年	成田	静司	(青森)	亀井	敬子	(兵庫)
30年	中西	義治	(東京)	設楽	義子	(山形)
31年	米田	従道	(富山)	小川	節子	(埼玉)
32年	渡辺	匡啓	(山形)	藤井	紀代子	(山口)
33年	瀬川	栄次	(京都)	吉田	たみ子	(静岡)
34年	大橋	紘明	(北海道)	中	教子	(京都)
35年	有本	登	(愛知)	黒崎	南海子	(栃木)
36年	根村	猛	(東京)	深津	尚子	(愛知)
37年	馬場園	憲	(愛知)	富田	洋子	(愛知)
38年	石井	清彦	(東京)	大島	洋子	(栃木)
39年	河野	満	(青森)	阪本	義枝	(大阪)
40年	仲村渠	功	(大阪)	大関	行江	(大阪)
41年	高橋	行光	(京都)	村上	静代	(大阪)
42年	古賀	法男	(福岡)	中村	洋子	(青森)
43年	村上	博巳	(京都)	大関	政江	(東京)
44年	田村	隆	(大阪)	横田	幸子	(栃木)
45年	黒田	享	(福岡)	猪狩	栄子	(神奈川)
46年	久世	雅之	(大阪)	内田	恒代	(大阪)
47年	阿部	博幸	(大阪)	内田	恒代	(大阪)
48年	天野	悟	(福岡)	高橋	紀子	(群馬)
49年	清水	正夫	(埼玉)	松田	一三	(愛媛)
50年	村松	新吾	(埼玉)	川東	加代子	(福岡)
51年	竹之内	君明	(埼玉)	田村	友子	(愛媛)
52年	吉浦	忠行	(福岡)	岩田	浩子	(長野)
53年	福田	可信	(京都)	小西	淑子	(岩手)

年度	男子ジュニア			女子ジュニア		
54年	齋藤	清	(埼玉)	漆尾	ゆりえ	(福岡)
55年	野尻	俊宣	(埼玉)	福田	法子	(栃木)
56年	池田	研一	(鹿児島)	細矢	順子	(神奈川)
57年	小林	智之	(神奈川)	橘川	美紀	(神奈川)
58年	岩崎	清信	(埼玉)	室重	明世	(山口)
59年	伊藤	誠	(青森)	内山	京子	(神奈川)
60年	西川	雅也	(京都)	内山	京子	(神奈川)
61年	矢島	淑雄	(埼玉)	吉田	静子	(京都)
62年	徳村	智彦	(宮崎)	佐藤	利香	(神奈川)
63年	平	亮太	(埼玉)	佐藤	利香	(神奈川)
H1年	森本	洋治	(大阪)	河合	雅世	(神奈川)
2年	今枝	一郎	(愛知)	大島	美絵	(栃木)
3年	仲村 釒	帛治郎	(高知)	松岡	りか	(大阪)
4年	村上	裕和	(埼玉)	西飯	由香	(三重)
5年	遊澤	亮	(大阪)	河野	文江	(神奈川)
6年	真田	浩二	(愛知)	辻本	理恵	(大阪)
7年	真田	浩二	(愛知)	川越	真由	(大阪)
8年	谷口	祐二	(大阪)	武田	明子	(大阪)
9年	柳田	敏則	(大阪)	小西	杏	(大阪)
10年	三田村	宗明	(青森)	藤沼	亜衣	(大阪)
11年	坂本	竜介	(青森)	藤井	寛子	(大阪)
12年	高木和	健一	(青森)	平野	早矢香	(宮城)
13年	高木和	健一	(青森)	福原	愛	(大阪)
14年	岸川	聖也	(宮城)	福原	愛	(青森)
15年	水谷	隼	(青森)	福原	愛	(青森)
16年	高木和	卓	(青森)	石塚	美和子	(大阪)
17年	水谷	隼	(青森)	照井	萌美	(宮城)
18年	水谷	隼	(青森)	石川	佳純	(大阪)
19年	上田	仁	(青森)	石川	佳純	(大阪)

年度	男子ジュニア			女子ジュニア		ニア
20年	上田	仁	(青森)	石川	佳純	(大阪)
21年	丹羽	孝希	(青森)	石川	佳純	(大阪)
22年	丹羽	孝希	(青森)	三宅	菜津美	(岡山)
23年	丹羽	孝希	(青森)	谷岡	あゆか	(東京)
24年	森薗	政崇	(青森)	松平	志穂	(大阪)
25年	吉村	和弘	(山口)	加藤	美優	(東京)
26年	及川	瑞基	(青森)	伊藤	美誠	(大阪)
27年	木造	勇人	(愛知)	浜本	由惟	(東京)
28年	木造	勇人	(愛知)	笹尾	明日香	(神奈川)
29年	張本	智和	(東京)	長﨑	美柚	(東京)
30年	戸上	隼輔	(山口)	出澤	杏佳	(茨城)

※平成30年度までは、大会名に開催年度を用いた。 2019年度からは、大会名に開催年を用いた。

年	男子ジュニア			女子ジュニア		
2020年	吉山	僚一	(愛知)	大藤	沙月	(大阪)
2021年	濵田	一輝	(愛知)	大藤	沙月	(大阪)
2022年	吉山	僚一	(愛知)	木原	美悠	(東京)